

ビジネスコース

新コース「エグゼクティブ・コース」の開講

new

キルギス日本センターのビジネスコースでは、11月から経営者のための新コース「エグゼクティブ・コース」を開講します。このコースは、日本の経験に基づく企業の競争力アップと成長のための戦略手法を、トップ企業の経営者が習得することを目的としています。コース全体は「戦略的マーケティング」

「生産・品質管理」、「人的資源管理」の3モジュールで構成され、ビジネスコンサルティング分野で豊富な国際経験を持つ日本人講師陣が全ての講義を担当します。コースでは、実際のケースを用い分析を行い、理論をキルギスの現実に適用しながら講義が進められる予定です。

活動予定

今後の行事について詳しい情報をホームページでご覧いただけます。

www.krjc.kg

[Facebook.com/KRJC.KG](https://www.facebook.com/KRJC.KG)

10～11月

日本から派遣された専門家によるビジネス・セミナーの実施。セミナーのテーマ:「マーケティング」「人的資源管理」「生産・品質管理」。

Gクラブメンバー(キルギス日本センターのビジネスコース修了生組織)向けのセミナー実施。



サービスにおける心理学を学ぶ機会を提供—Gクラブ会合

8月23日、キルギス日本センターにおいて、Gクラブ*メンバーに対して、ウズベキスタン日本人材開発センターのビジネスコースで講師として活躍するディヤス・ムタロフ氏より、「サービスにおける心理学」というテーマで、コミュニケーションの障壁克服、顧客別のセールステクニック、購入者の心理、ボディランゲージの活用などについての講義が行われました。

参加者にとって興味深いテーマであっ

たことや社会、文化、言語の共通性の高い隣国ウズベキスタンの講師による講義とあって、40名近い参加者が集まり、活発に質問や意見交換がなされました。

キルギス日本センターは、今後も参加者のニーズに合致したテーマのGクラブ会合を開催し、ビジネスコース修了生を支援していく予定です。

*Gクラブ:実践的ビジネスマネジメント(ミニMBA)コース参加者の修了生組織



「実践的経営管理コース(通称:ミニMBAコース)」の新メニュー

今年のミニMBAコース(第13ラウンド:4月～7月、第14ラウンド:9月～12月)では、コースの質向上、受講生の満足度アップとニーズ充足のために、新しい試みを行いました。その試みとは、下記のものです。

1) 受講生は3ヶ月コース成果の集大成として作成するビジネス・プランを金融機関に対しても発表することによって、融資を得る可能性があること。

2) Facebook(ビジネスコース受講生用のグループ)上で、講義で使用する教

材を入手したり、講師と質疑応答のやりとりをしたりできること。

3) 新しく「ソーシャル・メディア・マーケティング(SMM)」の科目が導入されたこと。

4) キルギス日本センター内で受講生が利用できる無料WiFiサービスが始まり、インターネット上で教材を閲覧することができるようになったこと。

第14ラウンドのミニMBAコースは、9月27日に開講しました。



【着任のご挨拶】国際交流基金派遣 日本語教育専門家 山口紀子



キルギスの皆様、はじめまして。
去る9月5日、非常に暑い真夏日に当センターに着任いたしました。それから10日と経たないうちに朝晩めっきり肌寒くなり、すっかり秋めいて、季節の移り変わりの早さに驚かされています。

ビシュケクの街の様子は3年間過ごしたシベリアの街々と似て、初めて来たのにどこか懐かしい気がし、また仙台生まれの私にとって、街の中心からも山々の雄姿が望めること

が何より素晴らしいです。
昨年まで7年間、ロシアのサンクト・ペテルブルグ市とノボシビルスク市の大学で教鞭を執っていましたが、縁あって、ロシアともゆかりの深いキルギスにこうして赴任できたことを感慨深く思っています。
キルギスは人口規模に比して日本語学習者の多い国。
大勢の方々が日本や日本語、日本文化に関心を持ってくださるのは大変嬉しいことです。
当センターの日本語コースはこれまでも国際交流基金の派遣専門家が運営に協力して参りましたが、今年度からはセンターと国際交流基金との共催事業として講座運営をしていくこととなりました。これに伴い、国際交

国際交流基金が主催の日本語能力試験は毎年同じ日に世界中に行われます。開催時期は7月と12月の上旬です。キルギスでは日本語能力試験は初めて2008年に

日本語能力試験

実施され、毎年1回、12月の第1日曜日に開催されています。今年の日本語能力試験はビシュケク人文大学で行われます。

日本センターJF日本語講座

今年の8月から、キルギス日本センターの日本語コースは国際交流基金が運営するJF日本語講座となり、新しい理念に基づいた教育を始めました。
JF講座では、「JFスタンダード」という言語教育の枠組みに基づいた教え方で、主にコミュニケーション能力の育成に注目し母語を習得するように自然に日本語を学ぶ方法によって教えられます。

国際交流基金が新たに作成した『まるごと日本のことばと文化』は、JFスタンダードに準拠した日本語と日本文化を同時に学べる教科書で、言語活動を中心にした活動編とさらに知識を深めたい人のための理解編の2冊があります。キルギス日本センターでも、今年度中に『まるごと』を中心とした日本語コースの開講を予定しています。
JFスタンダードはヨーロッパの言語教育の

「日本語音声教育セミナー」開催

8月24日(土)と25日(日)、キルギス日本センターにて、国際交流基金の助成事業として、「日本語音声教育セミナー」が開催されました。このセミナーは、在キルギス共和国日本国大使館とJICAキルギス共和国事務所の後援を受け、キルギス共和国日本語教師会とキルギス日本センターの共催で行われました。
第1日目には、「中央アジアの日本語教育の現状と課題」というテーマで、カザフスタン、ウズベキスタン、キルギスの日本語教師より、各国の日本語教育現場での実践報告と研究発表がありました。各発表後、共通の課題、解決策について意見交換がなされました。セミナーでは、「楽器『コム

ズ』を使った発音指導」、「Facebookを用いた作文授業」、「視覚障害者が日本語を学ぶために必要なこと」などの新しい教授法が紹介されました。
第2日目には、明海大学の木下直子先生(日本語教育学博士)と早稲田大学の中川千恵子先生(人文科学博士)による講演とワークショップが行われました。講演のテーマは、「日本語の音声について：特殊拍を中心に」と「アクセントイントネーション」；OJAD (Online Japanese Accent Dictionary) の紹介でした。ワークショップでは、セミナー参加者による教案作成、各国での教授法の比較と意見交換がなされました。

今回のセミナーで紹介された日本語音声の教授法は、日本語コース受講生の日本語能力向上に役に立つと思います。



JAPAN FOUNDATION

流基金の推進する日本語教育スタンダードに基づいた新講座を今年度中に開講できるよう現在準備中です。
これからもますます多くの方々が日本に親しみを感じてくださるよう、日本語教育を通じて尽力したいと思っています。

活動予定

今後の行事について詳しい情報をホームページでご覧いただけます。

www.krjc.kg

[Facebook.com/KRJC.KG](https://www.facebook.com/KRJC.KG)

11月18~19日

「日本留学フェア2013」

盆踊り大会を実施しました

9月28日(土)、第5回盆踊り大会を実施しました。今回はビシュケク市の135周年記念行事の一環として、ビシュケク市とキルギス日本センターの共催イベントでした。当日は、盆踊りに加え、太鼓のパフォーマンス

スや日本人会有志の方や日本料理店による日本食の出店がありました。天候にも恵まれ、多くの方が来場し、キルギスの人々に日本の夏の雰囲気を楽しんでもらう良い機会となりました。



第4回「キルギス理解講座」を実施しました



8月10日、在留邦人の方々向けに第4回「キルギス理解講座」を開講しました。この講座は半日のみの講座であるにもかかわらず、内容が盛りだくさんでした。まず、「キルギスの歴史・文化・伝統」、「キルギスの生活風習」、「キルギスの教育」についてのプレゼンテーションを行い、それぞれの分野について、キルギスの特徴や昔のキルギスと現代のキルギスの違いについても紹介しました。そして、キルギス文化を体験するために、コムズの演奏

やキルギス映画の上映会も行いました。キルギスはシルクロードの小さな国の一つですが、長い歴史や独特の文化と伝統を持っているため、受講者の方々には興味深く、楽しい講座になったと思います。また、新しい文化と出会うのは新しい扉を開くと同じように、受講者の方々にとって、このような講座で得られた知識がキルギスでの生活で役に立ち、キルギスを更に理解する良い機会になることを希望しています。

平和の日

例年通り8月6日「平和の日」イベントを開催しました。当日用意したブースは、原爆に関する様々な資料のコーナー、関連映像作品上映のコーナー、平和を祈念し千羽鶴を折ってもらう折り紙コーナー、平和への思いを絵や文字で表現してもらう書道のコーナーと東日本大震災ビデオコーナーでした。今年は「東日本大震災ビデオコーナー」では、2年前の東日本大震災による福島原発事故で甚大な被害を受けた福島県南相馬市の人々とのビデオメッセージ交換の様子と「私が見た仙台」というビデオを上映しました。後日、南相馬市に暮らす皆さんから右のメッセージが届きました。



HIROSHIMA PEACE CULTURE FOUNDATION

*I trust this letter finds you in good health.
I was very pleased to receive the paper cranes you folded in your sincere desire for peace.
We dedicated your cranes to the Children's Peace Monument, the statue that was built in memory of Sadako Sasaki, a junior high school girl who died in 1955 of the «A-bomb» disease.
I believe the spirit of Sadako is pleased by your great kindness.
Your prayers for world peace will be passed on to the many people who will visit the monument.
Let's work together for a world of peace free from nuclear weapons so Sadako's tragedy will never be repeated.*

*Very truly yours,
Yasuyoshi Komizo,
Chairperson, Board of Directors
1-2 Nakajima-cho Naka-ku Hiroshima
730-0811 Japan
Telephone : 81-82-241-5246
Fax : 81-82-542-7941*

*URL: <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/peacesite/>
E-mail : hpcf@pcf.city.Hiroshima.jp*

ITコース 「インターネット上のビジネスプロモーション」

昨年、日本センターで開催した社会人向けの講座「インターネット上のビジネスプロモーション(SMM)」は、好評でした。昨年は全5回で、計60人が受講しました。9月からの新学年に、過去の受講者の要望を取り入れ若干変更を加えた上で、この講座を再開することになりました。

講座では、ソーシャルマーケティングを実践している企業家をゲストスピーカーとして招いています。

9月の新受講生の声をお届けします。

ニヤザリエワ・シリンさん(コンピュータ関連会社「Ermex Group」のマネージャー)

「私は、日本センターのSMM講座で多くの有益な情報を得ました。ソーシャルネッ

トワーク分野におけるプロジェクトの市場価値とユーザーの行動に関する統計情報が、特に興味深かったです。講座の内容が、現場の「生きた」経験に基づいていることがよかったと思います。

SMM講座に参加した結果、私の将来SMMの専門家になりたいという気持ちが強まりました。5日間の講座はあっという間に終わりましたが、1つ1つの講義が待ち遠しかったです。得た知識の価値というのは、実践の場で目に見える成果が出てきた時に、改めて感じるものですね。有益な時間を与えてくださった、日本センターとスベトラナ・マルゴリス講師に感謝しております。」

活動予定

今後の行事について詳しい情報をホームページでご覧いただけます。

www.krjc.kg

[Facebook.com/KRJC.KG](https://www.facebook.com/KRJC.KG)

11~12月

IT SMMコース「インターネット上のビジネスプロモーション」



日本センターの社会的貢献

新学年開始の9月より、聴覚障がいを持つ子供と成人のためのコースを再開しました。このコースは、聴覚に障がいを持つ人々にコンピュータの基礎とのインターネットの使い方を教えることを目的としています。今回の3ヶ月コースでは、ビシュケク21番聴覚障害者寄宿学校の24人の生徒たちが学んでいます。

データ:

日本センターでは、2006年4月

より聴覚障がい者のためのITコースを実施しており、これまでに累計364人がコースを受講しました。また、日本センターはキルギス盲聾協会に対して、ITコースの講師派遣と、コンピュータ20台と学習機材が設置されている教室の提供の協力を行いました。このコースの初代修了生のうち、優秀な3名は現在、聴覚障がい者のためのITコースの講師となっています。



日本留学促進の支援

「日本留学フェア2013」

日本は、海外の高校生、大学生、大学院生、国家公務員用に多様な奨学金プログラムを提供しているため、キルギスでは年々、日本への留学に対する若者の関心が高まってきています。多くの大学は、日本語でなく英語で授業を行うコースも有しているため、日本語ができない学生でも入学するチャンスが増えています。

キルギス日本センターは、11月18日(月)・19日(火)、キルギス民族大学とビシュケク人文大学にて、キルギスで4回目に当たる「日本留学フェア2013」を開催します。フェアの開催にあたっては、キルギス教育科学省、在キルギス共和国日本国大使館の後援、JICAキルギス共和国事務所、JICE・JDSプロジェクト事務所の協力を

いただきます。入場は無料です。

今年の日本留学フェアには、日本から早稲田大学、筑波大学、国際大学の3大学が参加します。フェアでは各大学による大学紹介のプレゼンテーションに加えて、個別相談会も実施します。

詳細は、後日ホームページ(www.krjc.kg)に掲載致します。

編集者より:

キルギス共和国日本人材開発センター(KRJC)のNews Letterは四半期に1回発行しています。News Letterでは、KRJCの活動報告と今後の行事についての記事を掲載しています。次回のNews Letterでは、ビジネスコース講師のインタビューを掲載する予定です。

編集者:

西川直子(業務調整員)、サグデワ・オクサナ(シニア・マネージャー)

Kyrgyz Republic Japan Center for Human Development

KNU, Building 7, Floor 2, 109 Turusbekova Street.

Bishkek tel. +996 (312) 906580, 906581

e-mail: krjc@krjc.kg www.krjc.kg [facebook.com/KRJC.KG](https://www.facebook.com/KRJC.KG)